

# 『真名川ダムフラッシュ放流』を実施！

～九頭竜川ダム統合管理事務所～

真名川ダムでは、出水期に洪水調節容量の一部を有効活用して、洪水調節に支障を及ぼさない範囲で流水を貯留し、春先に放流（フラッシュ放流）することで、ダム下流の河川環境改善を図ります。（ダムの弾力的管理）

また、弾力的管理により洪水調節容量に貯留した流水は、水力発電による放流で貯水位を低下させ、再生可能エネルギーの創出にも最大限活用します。

実施概要

■放流日時

- 放流日時：令和5年3月14日（火） 7時～18時
- 放流量：11時頃に最大放流量 毎秒200立方メートルに到達。  
以降、毎秒200立方メートルを6時間継続し、放流を終了。

■真名川の水位への影響

- 佐開橋（大野市五条方、ダム下流約4km付近）では、12時頃に最大1.85m(0.22m→2.07m)水位が上昇しました。
- 富田大橋（大野市中保、ダム下流約10.5km付近）では、17時頃に最大1.77m(1.27m→3.04m)水位が上昇しました。

■河川環境改善の効果（検証中）

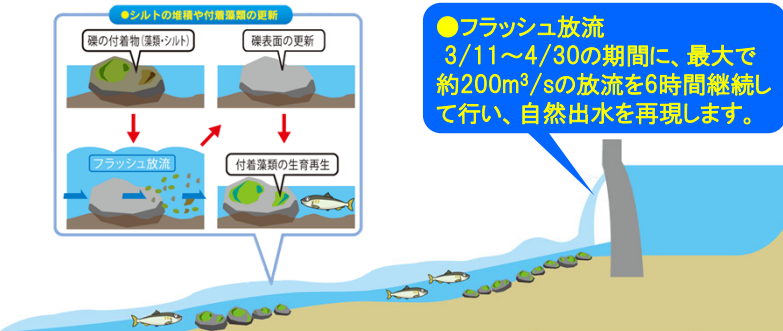
- 主なモニタリング調査（河床材料の粒度分布、付着藻類相やシルト堆積、魚類の個体数、底生生物、植生の分布状況 等）

【位置図】



●河川環境の保全

流量に変動を与えることで、ダム下流の河川では、礫に堆積したシルトや付着藻類を更新します。



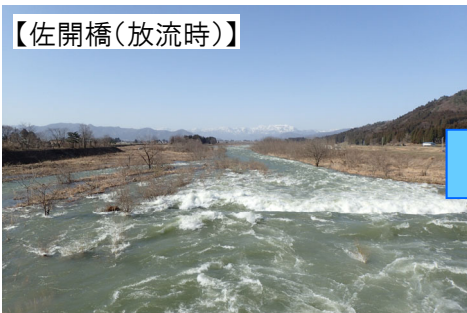
●フラッシュ放流

3/11～4/30の期間に、最大で約200m<sup>3</sup>/sの放流を6時間継続して行い、自然出水を再現します。

【真名川ダム放流の様子】



【佐開橋（放流時）】



【佐開橋（放流後）】



【富田大橋（放流時）】



【富田大橋（放流後）】



【川石の状況】



フラッシュ放流により、古い藻類やシルトなどの付着物が洗い流されました。

注意）写真は、同付近の川石と比較したもので、同じものではありません。

【問い合わせ先】



国土交通省 近畿地方整備局  
九頭竜川ダム統合管理事務所

〒912-0021

福井県大野市中野29-28  
管理課 TEL:(0779)66-5300(代)